

平成26年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	被災地における消防団の安全確保と復興推進事業		担当部局庁	復興庁			作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成26年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 大野 秀敏
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	政策:復興施策の推進 施策:東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律、消防組織法、災害対策基本法		関係する計画、通知等	「新しい東北」の創造に向けて(平成26年4月18日復興推進委員会)、避難解除等区域復興再生計画(平成25年3月19日内閣総理大臣決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	消防団の広域応援を支援するため、消防団員の安全確保対策の充実を図る資機材、消火・救助活動等に必要な車両及び救助資機材等を無償貸付し、訓練等により災害対応能力の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災の被災地において消防力を確保するための消防団の広域応援を支援するため、広域応援に必要な車両・資機材を無償貸付けし、借受市町村が車両等を用いた訓練を実施するもの。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input checked="" type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求
		補正予算	-	-	191	-	-
		前年度から繰越し	-	-	65	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	65	-
		予備費等	-	-	▲ 65	-	-
		計	-	-	191	65	-
	執行額	-	-	131	-	-	
	執行率(%)	-	-	68.6%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	無償貸付借受団体による訓練の実施市町村数	成果実績				100%全ての借受け団体で検証訓練の実施	
		目標値				100%全ての借受け団体で検証訓練の実施	
		達成度	%			100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	消防団車両及び資機材の無償貸付先の団体数	活動実績				21	3
		当初見込み				(21)	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	÷	単位当たりコスト					
		計算式	/				
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	-			
	計	-	-				

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	東日本大震災を踏まえ、原発被害による避難指示区域を有する市町村と広域応援協定を結んでいる消防団が、災害時の広域応援を円滑に行うための事業であり、国民ニーズや優先度が高い事業である。 必要な資機材等を国が整備し、当該資機材等により消防団等が訓練等を行うものであり、役割分担は明確である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	調達是一般競争入札により行っており、各種予算の執行管理を徹底し、経費の削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	無償貸付車両等については訓練計画及び報告書により、貸付先の地方公共団体において効率的・効果的に活用されていることを消防庁としてチェックしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	無償貸付車両等については、引き続き、訓練計画及び報告書により、貸付先の地方公共団体において効率的・効果的に活用されていることを消防庁としてチェックする。				
	改善の方向性	本事業は、平成26年度で終了する予定である。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	事業の目的である消防団員の安全確保対策は、平成25年度予算において一定の目的を達成しており、平成26年度以降は予算計上していない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	平成27年度は予算要求を行わない。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新25-016

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
金額 191百万円

総務省消防庁へ移替え



消防庁
金額 131百万円



A【一般競争入札】

民間業者等 7団体
金額 131百万円

物品の製造・納入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
a	放射線線量計の購入	25			
計		25	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	帝国繊維(株)	放射線線量計の購入	25	5	83.7%
2	トーハツ(株)	救助資機材搭載型車両AT・小型動力ポンプ4サイクルエンジン搭載型	24	3	96.9%
3	(株)IHIシバウラ	救助資機材搭載型車両AT・小型動力ポンプ2サイクルエンジン搭載型	23	3	98.6%
4	(株)IHIシバウラ	救助資機材搭載型車両MT・小型動力ポンプ2サイクルエンジン搭載型	23	3	98.5%
5	(株)赤尾	特定小電カトランシーバー	14	4	70.0%
6	トーハツ(株)	救助資機材搭載型車両MT・小型動力ポンプ4サイクルエンジン搭載型	12	3	99.8%
7	帝国繊維(株)	消防団拠点資機材等	10	5	98.5%